

「子供が学ぶ」 My 授業づくり シート

～拡散と収束のある学び 須田小学校 中村 水香

◆「子供が学ぶ姿」

子供の「よく分からない」を「はっきりさせたい」に高まることで、子供は、友達の考えを付け加えたり、新たな考えを思い付いたりすることで、考えをより深めていきます。

国語学習編 物語を読む

◆教師の役割～日常的な4つの役割

次の4つのことを中心に、授業づくりに取り組んでいます。

- ① 授業で考えること（学習課題）のしかけ
- ② 子供から様々な考えを引き出すしかけ
- ③ 様々な考えを整理するしかけ
- ④ 自分の学びをまとめるしかけ

学習課題のしかけ ?を感じる

◆子供が、学習のめあてをもつ

- ① 中心人物の気持ちの変化が分かるキーセンテンスを黒板に貼る
- ② この間に「何があったか」焦点化して問う
- ③ 子供の意見と理由の、不足部分を聞き返し、**文章を関係付けて読む必要感を高める**

拡散のしかけ

◆子供から、様々な考えを引き出す

- ペア対話**
- ① 音読を通じて、考えを伝え合う場を作る
考えを音声化して伝える
 - ② 子供の考えを、音読の表現で工夫させ、気付かなかった考えに目を向けさせる
他の子供につなぐ
 - ③ 子供の意見と理由を丁寧に聴き、他の子供につなぐ

収束のしかけ

◆子供の考えを、整理する視点を示す

- 短い言葉に置き換えて関係づける**
- ① 子供が見付けたバラバラな考えを、短い言葉に置き換えて関係づける
学習のテーマとつなげて考える
 - ② 1時間の学習のまとめをもとに、学習ゴール（登場人物は～だ!）について考える

まとめのしかけ 型でまとめる

◆子供が、学習課題についてまとめる

- ① 学習の書き出しや、キーワードを示して、学習の振り返りをする

「どんなさかな?～スイミー日記」

■今日の学習課題のしかけ

- ① スイミーの気持ちの変化が分かるキーセンテンスを黒板に示す（さびしい・かなしい→げんき）
- ◎ スイミーに、なにがあって元気になったのかな（※②）
- ③ 「すばらしい・おもしろいものをみた」という考えには、「仲間がいなくなったのに…」と、その根拠を聞き返す

■今日の拡散のしかけ

- ① ペアになって文章を読み、スイミーに何があって元気になったか話し合う
- ② 子供の考えが、他の友達にも伝わるように、工夫して音読させる【声の高さ、速さ、抑揚、間】（～みたいなど）
- ③ 子供の意見と理由を受け止め、他の子供につなぐ
・○○さんは～で、理由は～なんだね。みんなはどう思う

■今日の収束のしかけ

- ① 対人物（くらげ等）を、子供と一緒に、短い言葉（すばらしい・おもしろいもの）のどちらかに置き換える
・いろいろな生き物が、スイミーを元気にしたの?例えば、「くらげは?」「すばらしい!から」など、丁寧に確認していく。
- ② 今日の学習から、スイミーはどんなさかなだったかな?（こわい思いをしたけど、めげない等）

■今日のまとめのしかけ

- ① スイミーの気持ちになって、スイミー日記を書こう!
「きょうね、ぼくはね。……………」



物語全体を意識する読みを通して「深い学び」につなぐ
「スイミーに何が起きたか?」

■主体的に学びに向かうしかけ

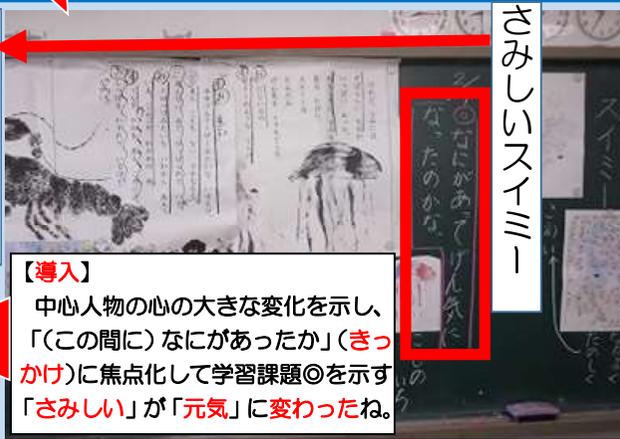
学習の始まりでは、全員が同一の決められた範囲ではなく、気になっている所や、自分が読みたい所を中心に音読する（自分読み）時間を設ける

【拡散】共有情報を増やす

ペアを組み、互いの考えを紹介し合うことで、解決のための共有情報を増やす



元気なスイミー



さみしいスイミー

【導入】

中心人物の心の大きな変化を示し、「(この間に)なにがあったか」(きっかけ)に焦点化して学習課題◎を示す「さみしい」が「元気」に変わったね。

【拡散】共有情報を増やす

中心人物（スイミー）の気持ちを変えたものを、ビック教科書（拡大印刷）と繋げて整理していく



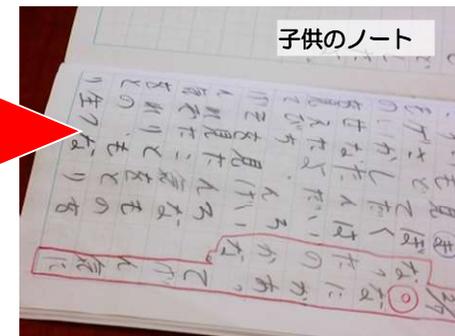
【収束】根拠となる記述を手がかりに、音読することを考えを深める

「ゼリーのようなくらげをみたから、スイミーは～」「じゃ、スイミーの気持ち(きれいで楽しくなった)」で読んでみて!」

■収束のしかけ

低学年教材には根拠となる記述が少ない。また、記述の背景にある中心人物の気持ちを読み取ることは難しい。

そこで、子供が選んだ会話文や地の文を音読させ、「どうしてそういう音読をしたのか」問い返すことで、人物の気持ちに近づけていく。



子供のノート